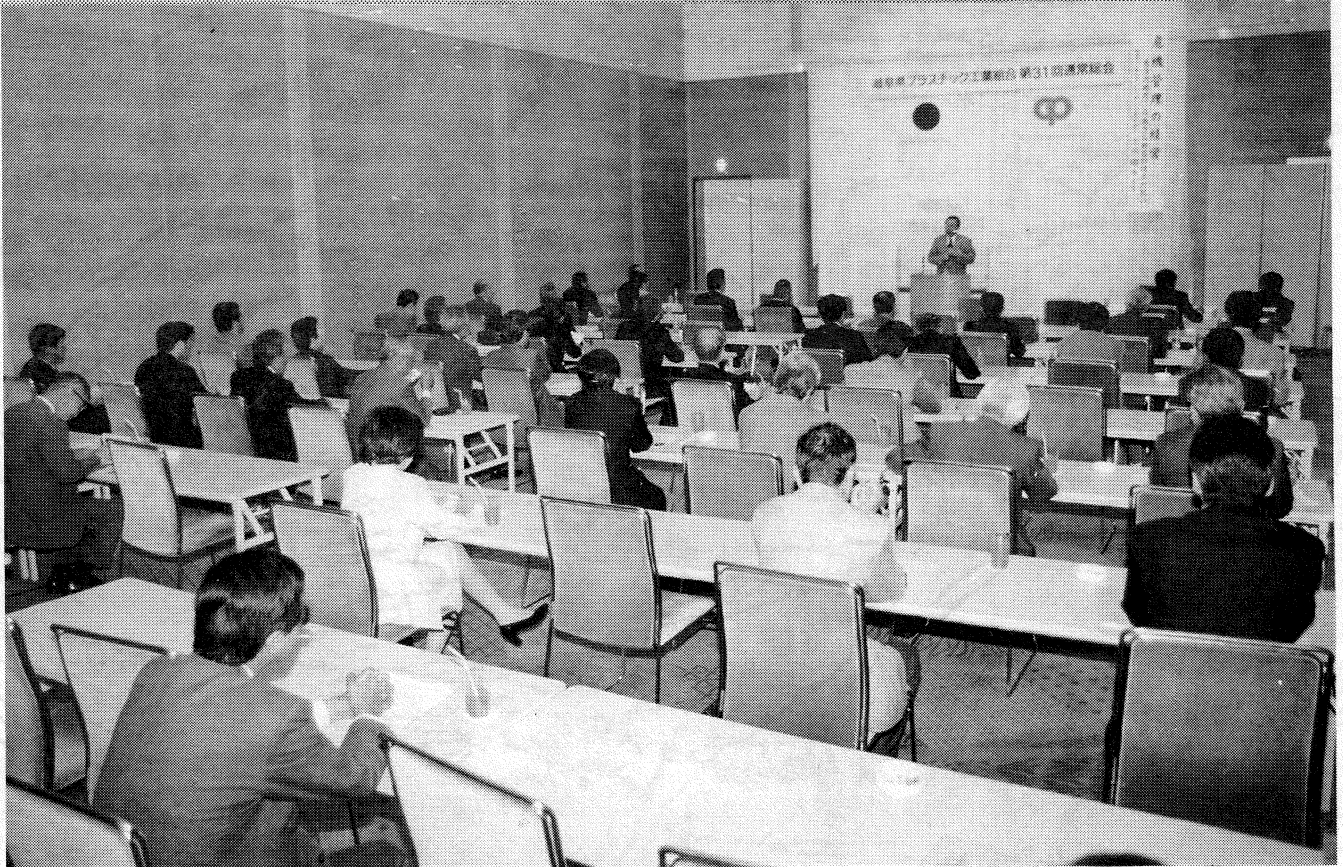


岐阜県の プラスチック

平成11年度の工業組合総会を開く。事業計画などを決める
役員改選で大松理事長らを再選、新体制でスタート
組合青年部も総会開き新部長に篠田さんを選ぶ
記念講演に立川昭吾氏を招く。講演要旨を紹介
人材高度化支援事業は本年度から訓練運営事業に入る
組合員の工場訪問・関プラスチック工業(株)
事務局だより

総会で新年度事業計画などを決めた後、記念講演会を開催



定款を改正して役員陣を強化

工業組合とデザイン協会の総会開く

大松理事長らを再選し新体制に

岐阜県プラスチック工業組合は、5月21日午後、ホテルグランヴェール岐山で『第31回通常総会』と『プラスチックデザイン協会第37回通常総会』を開催した。工業組合の総会議案は①平成10年度事業報告と収支決算②平成11年度事業計画と収支予算③平成11年度賦課金及びその納入方法④平成11年度取引金融機関及び借入金最高限度額一などで、いずれも原案どおり議決した。

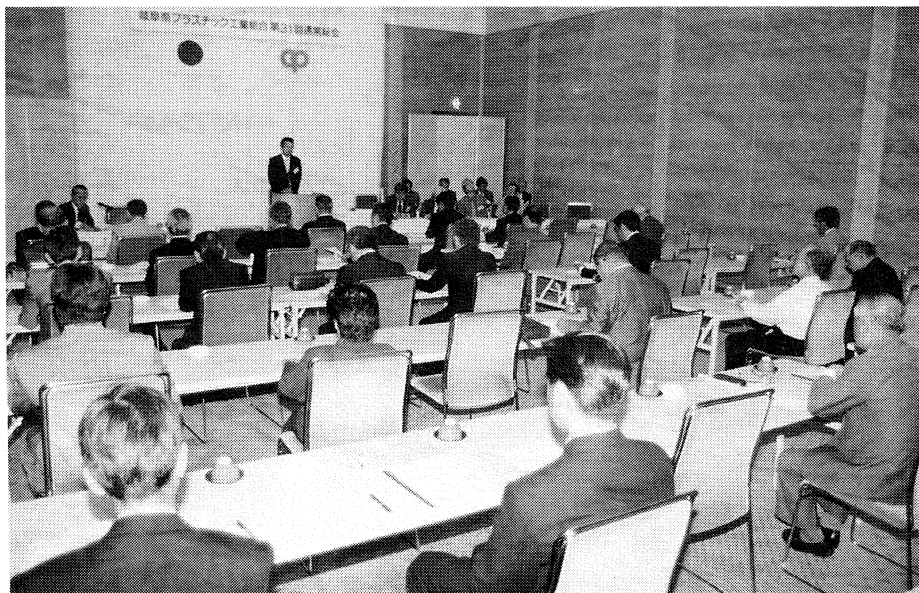
新理事に二人の女性経営者を選ぶ

続いて定款の一部を『理事定数をこれまでの13人以内から18人以内』と改正した後、任期満了に伴う役員改選を行なった。この結果、理事長に大松利幸氏、副理事長に児玉俊一大野實、日比勝次ら11理事を再選し、新たに6理事と2監事を新任するなど、役員陣の強化を図った。とくに新理事に石原良美氏、高垣美代子氏の女性経営者二人を選ぶなど、組合運営に女性のセンスを活用していくことにした。

なお、総会後は記念講演『危機管理の経営』をテーマに経営コンサルタント・中小企業診断士の立川昭吾先生の話聞いた後、懇談会に入り、講師や来賓を囲んで情報を得たりまた、会員相互に親睦を深めた。

三つの過剰に技術開発と活性化

新年度総会は児玉副理事長の開会あいさつで開始、続いて大松理事長が「厳しい経済情勢が続く中で、三つの過剰が叫ばれている。設備、債務、雇用の過剰で、バブルの余波を受けて以来、今だにこの三つの過剰は清算さ



新年度総会で、プラスチック業界の方向を示唆する大松理事長

れておりません。それには技術開発と活性化が何よりも大切である」と、前置きしてプラスチック業界の方向を次のように示唆、その対応を組合員に呼びかけた。

潜在能力は高いプラスチック産業

「プラスチック製品も来年4月から、容器包装リサイクルの対象に加わり、成形業界は新しい課題を背負うことになる。ある雑誌に“経済学は環境を救えるか”というテーマの記事があった。中を読むと、19世紀末に生み出された石油・電力という二大エネルギーと、20世紀の技術革新によって経済は発展したが、その反面、環境破壊という新しい現象を生み出した。これから迎える21世紀の産業社会は、環境を救い、保全していけるか、という内容である。その結論は、直接害を生ずる産業公害は直ちに排除しなければならないが、環境への影響がすぐ表れず、長期間経過して影響が出るものについては、経済学上では救えるという。このことは環境の

京都会議でも話し合われたが、グローバルに地球全体的な考え方で、各国が二酸化炭素の排出権を負担し合おうというもの。多く排出する国は未開発国へ資金援助を行い、環境に対して技術レベルの高い国は低い国へ技術援助するなど、環境保全には地球規模で取り組む考え方である」と説明した。

さらに大松理事長は「プラスチック産業は化石原料をもとに成り立ち、環境保全とは裏表の両面をもっており、環境には身近な課題として受けとめねばならない。21世紀は、20世紀とは異なるパラダイムシステム（考え方や制度）が必要で、プラスチック業界は難しい時代に入ることには確かなことである。しかし、プラスチック産業は、他産業に比べまだまだポテンシャル（潜在的な能力）の高い産業である。業界は手を取り合いながら、また、県など関係機関や団体の支援を仰ぎながら進んでいきたい」と呼びかけた。

新年度の事業計画や予算などを決める

新事業は国際プラ展見学や国民文化祭参加

総会の議事は、最初に①平成10年度の事業報告と総額2,207万余円の平成10年度収支決算②平成11年度事業計画と総額2,075万円の平成11年度収支予算、総額100万円の人材高度化支援事業特別会計予算③平成11年度賦課金及びその納入方法④平成11年度取引金融機関及び借入金最高限度額一など4議案をいずれも原案どおり議決した。

このうち平成11年度の主な事業計画内容をみると次のとおりで、新規事業としては「中小企業雇用促進PR事業」「全国国民文化祭参加事業」「国際プラスチックフェアの視察研修会」「リフレッシュ休暇制度・中小企業普及促進事

業」などがある。

本格化するブローの技能検定試験

①指導教育事業では国、県、中小企業団体中央会はじめ各種公社・公団等の関係団体と連携し、組合員のための研修会、講演会、セミナーなどの事業に積極的に参加していく。

②技術関連では、職業能力開発促進法にもとづく技能検定として、6月からプラスチック成形射出成形作業、12月からプラスチック成形用金型製作作業とプラスチックブロー成形製作作業の実技検定試験を実施する。

③技能検定試験の合格率向上と検定試験の円

滑な運営、また、受検者の安全対策を図るため6月に射出成形作業、12月に金型作業とブロー成形作業の特別講習会を実施する。

人材高度化支援事業は2年度目に

④平成10年度からスタートした人材高度化支援事業は準備事業を終わり、新年度から組合員企業の具体的な教育訓練に入っていく。したがって工業組合は、教育訓練に要した運営費、受講費、派遣費及び受講者の賃金に対する助成金手続きや運営を行なう。

こうした第2年度に入った人材高度化支援事業について、岐阜雇用促進センター新美峰義指導員が総会の議事終了後に詳細説明した。

⑤前年度から取り組みを開始しているプラスチック廃棄物処理検討委員会の活動をさらにすすめる、工業組合としての方向をまとめていく。

⑥工業高校など新卒者や若い有能な人材の確保に向け中小企業雇用促進PR事業を行なう。事業は合同説明会とし、学校関係者や職安関係者を招き、プラスチック業界および個々企業の事業内容を理解してもらう。

国際プラ展は10月に幕張メッセで

⑦今年10月に国民文化祭が岐阜県各地で開催されるが、7大産業の一員として総合フェア・全県まるごと産業文化フェスティバルへ出展する。会場は岐阜メモリアルセンターの「で愛ドーム」。

⑧視察研修は今年9月24日から5日間、幕張メッセで開幕する「国際プラスチックフェア」(約700社が出展予定)を特別バスで見学する。その他、先端企業の視察研修も予定している。

⑨前年度に続き、中小企業情報創造発信強化支援事業の助成を受けて「インターネットホームページ作成事業」を実施、組合員企業のビジ

ネス事業の拡大と充実を図っていく。

また、各種の情報提供や組合事業の広報をかねて組合会報「岐阜県のプラスチック」を、年6回(発行部数250部)発行する。

労働保険の事務代行事業も行なう

⑩共済事業では、自動車ディーラーや取り扱い店と提携し、銀行口座引落による購入ローンを実施し、組合員企業及び従業員の利便を図る。また、組合員の事業活動に必要な離型剤・医薬品などの希望品目を共同購入する。

この他、市外電話及び各種保険会社と特約店契約を結び、組合員の事業活動の効率化と合わせて組合手数料の収入を図り、組合財政基盤強化に役立てる。

⑪金融事業では、政府系金融機関が実施する運転・設備資金の融資及び各種中小企業融資制度を組合員に情報提供する。また、希望組合員には制度の指導・斡旋・助言を行い、組合員企業の経営安定に資する。

⑫事務代行事業としては、労働保険事務組合の許可を得て、組合員に代わって労働保険業務を事務委託する。同時に労働保険未手続き組合員に対し、適用を呼びかけていく。

⑬調査研究事業では、変化する社会経済環境の中で、適宜・適切な情報・施策をとらえ、会報記事として収集、また、施策担当者や関係団体と連携して必要な資料を収集し、組合員へ提供する。

リフレッシュ休暇制度の普及を図る

⑭福利厚生事業としては、組合員の親睦と交流を図るため新年互例会、組合員の健康づくり親睦ゴルフ大会、組合員の慶弔見舞いなどを実施し、組合の円滑な運営と活性化に役立てる。

⑮賛助会員制度の拡充と強化を図るとともに

組合員企業の技術開発や営業活動を促進する交流の場づくりとして、賛助会員を新年互例会へ招待する。

⑩新規事業として「リフレッシュ休暇制度・中小企業普及促進事業」に取り組む。組合員企業に働く従業員の勤労意欲を向上、また、人材の育成・確保に役立てるため、国のリフレッシュ

休暇制度の普及を図っていく。

リフレッシュ休暇とは、週休・夏期休暇など毎年定められた休暇以外の休暇。その休暇は有給とし、従業員の心身をリフレッシュすることを目的に制度を活用する。県内企業の導入率は低く、14.7%、制度化を検討している企業を含めても20.7%にすぎない。

理事17人と監事2人の新役員を決める

県内各地域を平均して理事を選出、組合の活性化を推進

総会の席上、定款の一部を改正し『理事定数をこれまでの13人以内から18人以内』とした後任期満了に伴う役員改選を行なった。定款の改正は県内各地域を平均して理事を選出、また、有能な企業代表者を迎え、組合運営の活性化を図っていくのがねらいである。この結果、理事長に大松利幸氏、副理事長に児玉俊一、大野實日比勝次ら11理事を再選し、新たに6理事と2監事を新任するなど、役員陣を強化した。

次は選出された役員のみなさんで、任期は2年間。

《理事長》

大松 利幸（岐阜プラスチック工業(株) 再

《副理事長》

児玉 俊一（コダマ樹脂工業(株) 再

大野 實（(株)東海ポリエチ工業所）再

日比 勝次（大垣プラスチック工業(株) 再

《理事》

下野 利昭（アテナ工業(株) 新

鈴木 潔（加茂企業(株) 新

林 貢一郎（岐阜産研工業(株) 再

篠田 哲（岐阜技研ポリマー(株) 前監事

境 茂外（三光合成(株)岐阜工場）再

岡部 修二（シーシーアイ(株) 再

清水 昭市（(有)清水樹脂）再

田部 将行（天龍工業(株) 再

石原 良美（(株)ニッセキ）新

高垣美代子（八幡化成(株) 新

杉山 元彦（パール化成品(株) 再

武藤 幸平（(株)武藤化成工業所）前監事

清生 勝文（ムトー精工(株) 再

《監事》

久世 幸博（(有)久世樹脂工材）新

宇野 隆（(株)東海化成工業所）新

プラスチックデザイン協会も総会

講習会や研修会などへの参加

工業組合の総会に続いて岐阜県プラスチックデザイン協会も通常総会（第37回）を開き、平成10年度の事業報告や決算状況を報告した後、平成11年度の事業計画と予算を決めた。

新年度の年間予算額は17万円で、事業内容は①デザイン講習会の開催②デザイン関係資料の配布③岐デ振主催の各種デザイン研修会・講習会などへの参加④工業組合の会報を通じてデザイン関連の記事掲載や資料を提供する⑤その他、随時、デザインに関する行事に参画、資料を入手して関係組合員に提供するなど、デザインの重要性と考え方を普及していくことを予定している。

「小回り効かせ新技術・新商品の開発を…」

県経営指導課長や県中央会専務理事から激励の祝辞

工業組合は新年度総会に県関係者ら多数の来賓を招いた。このうち河村哲男県農林商工部経営指導課長補佐が渡辺浩章同経営指導課長の祝辞を代読、また、森本安彦県中小企業団体中央会専務理事が激励の祝辞を述べた。



あいさつする森本中央会専務理事

その中で渡辺経営指導課長は「今日の経済状況は、個人消費や設備投資の低迷などにより、いぜんとして厳しい状況にあり、プラスチック業界でもその影響を多分に受けておられると思う。どうか、創意と工夫をこらし、連携を図りながら技術革新や新たな販路を開拓し、また、環境問題対策に取り組まれることを期待しています。県においては景気浮揚に全力で取り組む一方、廃棄物・リサイクルに対する地球環境改善資金など、時代のニーズに応えたキメ細かいメニューを用意した“中小企業制度融資貸付金”や省力化・合理化等の目的で機械設備を導入する場合の“設備近代化資金”などで支援していきたい」と、当面する中

小企業対策を述べた。

また、森本中央会専務理事は「中央会では情報連絡員制度を設け、各業界の経済動向を収集しているが、今だに長期不況から脱出したという報告は聞きません。しかし、こういう時代こそ自主性と主体性を持った新技術・新商品を開発し、不況を切り抜けなければなりません。大松理事長は設備、債務、雇用の三つの過剰について話されましたが、中小企業は持ち前の小回りを発揮して、新たな道を切り開いていただきたい。また、組合も時代に即応した運営と事業活動を展開し、組合員企業を支援してやっていただきたい」と、激励した。

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

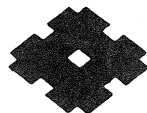
合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

新部長に篠田治さん

組合青年部が新年度総会を開く

工業組合青年部は4月24日、岐阜市内のホテルスポーツパルコで第18回総会を開き、平成11年度の事業計画、予算などを決めた後、役員改選を行なった。

新年度の活動目標は「時代を背負うリーダーとして研修、自己啓発、情報交換、親睦を図っていく」を重点に、年間事業計画を決めた。事業予算額は131万余円で、7月に研修会、9月に研修旅行、11月に講演会、新年1月に互例会年度末3月には講演会を予定している。

新役員は右のとおりで新部長には篠田治さん

(岐阜技研ポリマー(株))を選んだ。

▽相談役

川瀬 忠雄 (株)川瀬樹脂工業)

杉山 元彦 (パール化成品(株))

▽部長

篠田 治 (岐阜技研ポリマー(株))

▽副部長

古田 弘康 (株)古田製作所)

林 敬一郎 (岐阜産研工業(株))

▽監事

加藤 輝彦 ((有)加藤プラスチック製作所)

横山 剛 (横山プラスチック工業(株))

▽顧問

大松 利幸 (岐阜プラスチック工業(株))

人材高度化支援事業は訓練運営事業に入る

6月25日に給付金活用説明会を開催

工業組合の『人材高度化支援事業』は平成10年度の準備事業を終わり、平成11年度からは組合員企業ごとに具体的な教育訓練を行なう『訓練運営事業』に入っていく。それに先立ち5月21日に開いた総会の議事終了後に、岐阜雇用促進センターの大久保努所長と新美峰義指導員を招いて、第2年度に入った人材高度化支援事業の詳細説明を聞いた。

本年度から始まる訓練運営事業は、昨年実施した人材高度化支援事業アンケートの調査結果

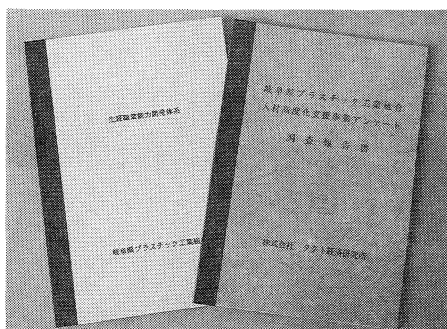
に基づき作成した『生涯職業能力開発体系』にしたがい企業ごとに対象者を人選し、体系

的・計画的に教育訓練を行なう。教育訓練に要した運営費、受講費、派遣費及び受講者には給付金が支払われる。工業組合では事業実施にあたり6月25日午後1時30分から岐阜産業会館5階で『開発給付金活用の説明会』を開く。

技能検定は1級16人、2級44人

工業組合は能力開発協会から『プラスチック射出成形技能検定』を受託、実施しているが、今年度は6月7日から3日間『特別講習会』続いて6月14日から16日間、実技の『技能検定試験』に入る。会場はいずれも岐阜県製品技術研究所(旧・岐阜県工業技術センター)の3階講堂と1階高分子加工実験場で行なう。

今年度の受検者は、1級16人、2級44人の合計60人で、平成7年度、平成6年度に続く過去3番目の大量受検。ハイテク時代にふさわしい技能検定試験になりそうだ。



開発体系(左)と調査報告書(右)

立川昭吾氏を招いて記念講演開催

「もうだめだ！とあきらめるな」

会社倒産を経験したノウハウを紹介

工業組合は、ホテルグランヴェール岐山で通常総会を開いたが、それを記念して経営コンサルタント・中小企業診断士の立川昭吾氏を招き『危機管理の経営』をテーマに講演をしてもらった。

講師は東京重機工業(株) (現株) ジューキ) に入社、営業所長などを経験した後、関連会社の社長としていろいろな会社の整理・倒産に関わってきた。ところが平成2年、今度は自分の会社が、取引会社の余波を受けて倒産する事態に直面した。路頭に迷ったあげく、その体験をもとに「TSKプランニング」という会社を設立し、全国を講演して歩く結果になったという。企業倒産という体験を逆手にとってその裏表を研究し、マスターした危機管理のノウハウと活力には感心させられた。講演会は人材高度化支援事業の一環として開いたもので、次は立川昭吾講師の講演要旨である。

倒産の本は社長より家族に人気

◇…会社の倒産を経験したのは、44歳の時です。何も無くなって考えたのが「絶対つぶれない会社はないものか」ということですがそんなうまい話があるわけではない。それなら「つぶれる会社を研究した方が早い」ということになった。

バブル以後、本屋へ行くと倒産に関する本は山積みされているが、当時は税理士が書いた堅い本ばかり。進む道はここにありとばかり倒産の経験をもとにいろいろ書きましたね。「倒産回避マニュアル」「会社の危機管理入門」など。どんな人が読んでくれるのかと調べると、以外にも社長より専務や常務、それに社長の奥さんや家族と分かり「妻たちの倒産回避マニュアル」を書いた。

また、負債から逃げる研究をしたときには

「夜逃げや本舗」や「平成金融道」を書き、テレビや映画のモデルになり、俳優として登場しました。

個人保証や連帯保証は日本だけ

◇…倒産にまつわるいろんな研究の中で分かったことで、知っておいてもらいたいことは二つある。一つは、手形が不渡りになる時間は銀行の窓口が閉まる午後3時ではなく、翌日の午前11時だということ。このことは危機管理の第一歩です。

もう一つは、個人保証や家族にまで連帯保証をさせられるのは、日本の中小企業者だけです。倒産すると一家は丸裸にされてしまう。何のために、株式会社や有限会社にしたのかわからない。大企業の経営者は個人保証させられていない。日本の銀行はひどい、中小企業経営者は気の毒ですね。



講演する講師の立川昭吾さん

全国で2万2千軒が消え「近い将来30万軒は消滅するだろう」という試算がある。

◇…今、時代は平等から「選別の時代」に入っている。産業は重厚長大型から「軽薄短小型」の産業が幅を効かせている。土地は資産ではなく「死産」となった。少子化で住宅はいらない。一方、農地は後継者不足から宅地化へと進み、住宅地は下がるのみ。不動産新聞は「宅地価格は30%ダウンする」との情報を出している。

これまでは「強いか弱いか」で、強いものが勝っていた。これからは「早いか遅いか」で決まる。インターネットにはじまり、携帯電話、カーナビ、サラ金、宅配便、人材派遣など、いずれも早いものが勝っている。

経営は知識と知恵と根性で進め

◇…今年のコセプトは「3コ」です。コというのは「すこし」という意味で「少し金持ち」「少しゆとり」「少し文化」をさしている。東京の旧白木屋（東急百貨店）が閉店した際230億円売り上げたという。何が売れたかということ、宝石、絵画、レジャー用品などで、ファッションや衣料品はそれほど売れなかった。この現象が少し金持ちで、少し文化に浸ろうというもの。さらに少しゆとりをもったことから、自然環境や旅行・レジャーに関心を示すようになった。

人の考えや行動は常に変化している。ましてや人の上に立つ経営者は「情報と感性」それに「ゆとり、遊び心」がないとだれもついては来ない。経営者の資格は知識と知恵と、それに「もうだめだ！とあきらめない」という根性を備えることである。

◇…経済企画庁の堺屋長官は「経済はゆっくり昇り始めている」といわれたが、これはばらまいた地域商品券が消費の動きを一時的に変えただけ。まだまだ油断はできない。3月期決算で企業は軒並み減収減益を計上しており、次は11月末がデットポイントだ。各銀行は日銀へ返済する11月15日を迎えて、各企業を締め付けるからで、9月期決算は今から思いやられる。今秋の日本経済は、再び沈滞しますよ。

こうした低迷が続く中で、どんな業種や会社が危ないかという。

その代表業種は、建築、土木、運輸、印刷など、変わったところではP、H、S産業がある。Pとはパチンコ、Hはホテル・旅館にホスピタル（個人病院）で、Sはスポーツショップにスタンド（ガソリン）商店街やすし屋。すし屋は回転すしブームになっているがさらに形態が変わり、従来のすし屋は無くなってしまいうだろう。無くなるものの代表はやはり商店街で、まさに消店街となり、すでに

金型から成形、組立、包装まで一貫生産

関プラスチック工業株式会社

新年度最初の工場訪問は、新組合員の関プラスチック工業株式会社（関市明生町2-7-10、資本金1,000万円、従業員35人）を訪ねた。関市と美濃加茂市を結ぶ国道248号線から、坂祝への分かれ道、津保川沿いにある。東海北陸自動車道の関インターに近く、一帯の道路改良工事も進み、地の利に恵まれたところ。

工場は2,400平方メートルの用地に、約1,000平方メートルの建物が並ぶ。2棟に分かれた成形工場は、事務棟同様に全面空調され、精密成形工場と呼ぶのにふさわしい。この成形工場に隣接し、自動金型倉庫と別会社セキプラの精密金型製作工場がある。

親子3人の新体制で不況を乗切る

創業者の洞田英次会長を訪ねると「一昨年、株式会社とした際に、長男の禮彰（のりあき）を代表に、次男の浩司（こうじ）を常務とし、わたしは会長となって企業全体を見てきた」と新体制で不況を乗切ってきた経過から話す。働

き盛りの41歳と37歳、成長した二人の後継者に囲まれた洞田さんの表情は明るい。

創業したのは昭和39年、刃の研ぎ師だった父親の作業場に成形機を入れてのスタート。ところが「成形技術についての知識はゼロ。昨年末亡くなられたフクシマ化学代表の福島さん（洞田さんの実妹の夫）と岐阜の工場へ習いに行きましたよ」と、当時を振り返る。

工場らしくなったのは昭和41年、岐阜プラの下請会社として岐栄協の設立にも参加、一時は組合の専務理事を勤めたことがある。

親企業から頼られる企業をめざす

洞田さんの転機は「昭和53年に現在地へ移転し、冷暖房設備の成形工場を建設、徹底した品質管理とコストダウン」に取り組んだ時。さらに精密金型の設計・製造設備を併設したり、組立、印刷、包装、配送…あらゆる部門を積極的に手がけ、今日では受注先から「商品開発の段階から参画してくれ」と、いわれるまでに信頼を得るようになったという。

整った工場には、サーボ機を含め200トンから

50トンまでの新鋭機種13機（他に外注15工場）が並びフル操業している。現在の成形分野は一般家庭用品が半数の50%、医療用部品が30%、水栓バルブなどの工業部品は20%で、そのアイテムは数え切れず、各部門に備えた10台のコンピュータで処理している。洞田さんは最後に「親企業を頼るのではなく、頼られる企業をめざし、必死に工夫と努力を重ねてきた成果です」と言い切る。



成形工場は全面空調され、土足厳禁という徹底ぶり

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ



□総会への出席ありがとうございました□

平成11年度の新事業計画や事業予算を決める通常総会へのご出席ありがとうございました。とくに今回は役員定数の増員を図ると同時に、任期満了に伴う改選を行い、新体制でスタートすることになりました。

上の写真は総会後の懇親パーティーで、参加した組合員は大いに親睦を深めました。

□新しい事務局長の高坂さんです□



4月から高坂貞夫さんが井森秀敏さんに代わり就任されました。県職員として商工労働、土木、農林など各部門を勤められた方で「事務局へ気軽に来てください」と話しています。

岐阜県のプラスチック 1999 147号

平成11年5月31日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 高坂 貞夫

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**
NOVATEC

NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

| | |
|-----------------|----------|
| 高密度ポリエチレン | ノバテックHD |
| 低密度ポリエチレン | ノバテックLD |
| 直鎖状低密度ポリエチレン | ノバテックLL |
| 直鎖状低密度ポリエチレン | ノバテックC6 |
| エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂 | ノバテックEVA |
| ポリプロピレン | ノバテックPP |

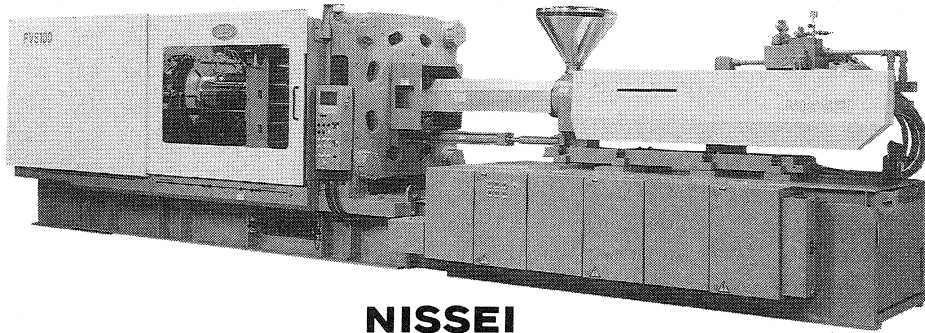
PC 日本ポリケム株式会社 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 1100
TEL 03-3297-8010 FAX 03-3297-8040

時代を創る 時代に答える

私たちNISSEIは、射出成形機の専門メーカーとして、プラスチック成形技術の開発に努めてきました。成形機を中心に金型・生産システムなど、技術の幅を広げ、国内トップメーカーとして業界をリードしています。プラスチックの活用はますます裾野を広げる中、プラスチック応用技術を通して、活力ある産業社会、心豊かな生活文化の創造に貢献しています。「人と暮らしに役立つ、新しいモノづくり」これが私たちの恒久のテーマです。

新たな発想で生まれた高性能・低価格大型機

FVシリーズ (FV9000, 9100, 9200, 9400)



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎ (0568) 75-9555(代)

■岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎ (0564) 52-1430 ■三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎ (059) 224-0716

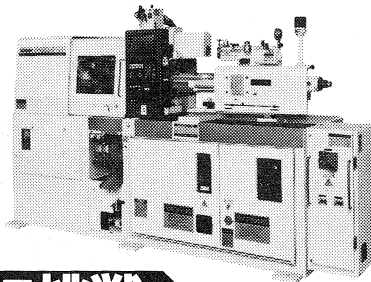
■本社・工場・研究開発センター / 長野県坂城町南栄2110 ☎ (0268) 82-3000(大代表)

■東京事務所 ■テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪 ■営業所 / 全国11カ所 / 出張所 / 全国19カ所 ■海外サービスステーション / 28カ所

● <http://www.nisseijushi.co.jp>

MEIKI

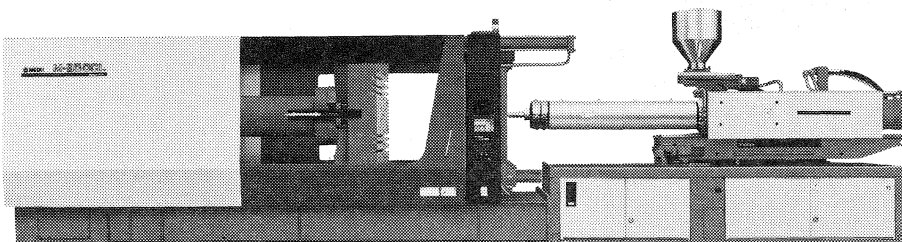
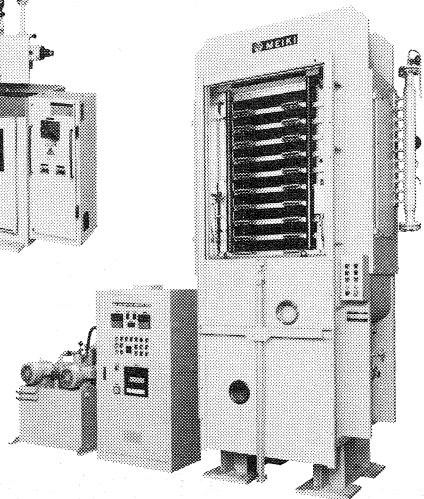
DVD専用機



ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク (DVD) 射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。

IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機

 株式会社 名機製作所

本社・工場 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562>48-2111(代)
 中部支店 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562>47-2391(代)
 岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎ <058>247-2674

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

くらしのこだわり…

HOME &
HOME

-RISU BASIC-

リズ株式会社
CROISSANT



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リズは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア
3つのPoint

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
2

洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無菌系抗菌剤だから安心

リズ株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社